

みずほCustomer Desk Report 2021/07/13 号(As of 2021/07/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.23	1.1873	130.86	1.3899	0.7489
SYD-NY High	110.40	1.1884	130.97	1.3911	0.7495
SYD-NY Low	109.99	1.1836	130.46	1.3839	0.7448
NY 5:00 PM	110.36	1.1860	130.88	1.3883	0.7479
NY DOW	34,996.18	126.02	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	14,733.24	31.32	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	4,384.63	15.08	米国2年債	0.2257	1.21bp
日経平均	28,569.02	628.60	米国5年債	0.7938	0.80bp
TOPIX	1,953.33	40.95	米国10年債	1.3670	0.67bp
シカゴ日経先物	28,675.00	115.00	独10年債	-0.3025	▲0.95bp
ロンドンFT	7,125.42	3.54	英10年債	0.6480	▲0.90bp
DAX	15,790.51	102.58	豪10年債	1.3260	▲2.00bp
ハンセン指数	27,515.24	170.70	USDJPY 1M Vol	5.28	0.00%
上海総合	3,547.84	23.75	USDJPY 3M Vol	5.53	▲0.07%
NY金	1,805.90	▲ 4.70	USDJPY 6M Vol	5.80	▲0.10%
WTI	74.10	▲ 0.46	USDJPY 1M 25RR	-0.35	Yen Call Over
CRB指数	212.707	0.91	EURJPY 3M Vol	5.53	▲0.05%
ドルインデックス	92.26	0.13	EURJPY 6M Vol	5.83	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は110.23レベルでオープン。朝方は本邦勢実需の売りフローにも押され仲値前後で一時110.02まで売られる場面があるも110.00を前に反発。売り一巡後は本邦5月機械受注の市場予想を上回る結果、また先週末の米株上昇の流れを引き継いだ日経平均およびアジア株全般の堅調な値動きを横目に110円前半で底堅く推移し、110.16レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.16レベルでオープン。朝方は売りが強まり109.99まで売られる場面もあったが、程なく110円台を回復すると、もみ合となり110.19レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1864レベルでオープン。週末のラガルドECB総裁の発言には反応薄で始まったが、その後デギントスECB副総裁の発言が伝わるとテーバリングへの慎重姿勢と取る向きが多くユーロに売りが入る。一時1.1836まで低下し1.1838レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	110.19レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、110.20近辺でもみ合い。しかし、その後はダウ先物がプラス圏に浮上したほか、米10年債利回りが海外時間の低下幅を全て取り戻したことが、リスクオンの円売りをサポートし、一時110.39まで上昇。午後は高値を110.40まで更新する場面もあったが、新規の手掛かり材料が見当たらず、明日に米6月CPIの発表を控える中、110.30近辺で小動き。結局、110.36レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.18台後半でスタート。週明けに行われたラガルドECB総裁のインタビューでPEPP終了後に新たな政策フォーマットへの移行を示唆するも、ユーロドルの反応は限定的。欧州時間ではデギントスECB副総裁が「インフレ上昇は一時的」、「かなりの刺激策が引き続き必要」との発言に反応して、ユーロ売りが加速し、1.1836まで下落後、1.1838レベルでNYオープン。朝方はオープン前の売りが一巡し、1.1856まで反発。その後はリスクオンで上昇するユーロ円につれて、1.1874まで上昇するが、米金利の上昇が重しとなり、小幅反落。午後は1.1860近辺で小動き。終盤も方向感欠いた展開となり、そのまま1.1860レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・鈴木 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

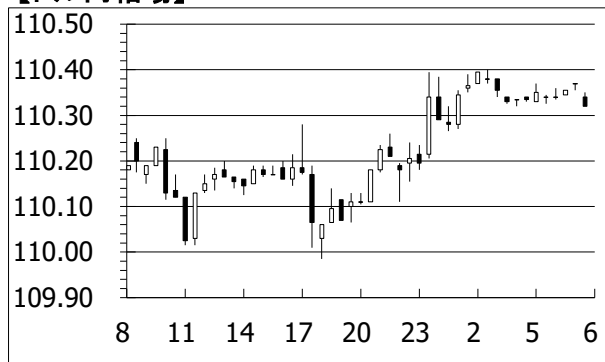
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
------	------	-------	----	----

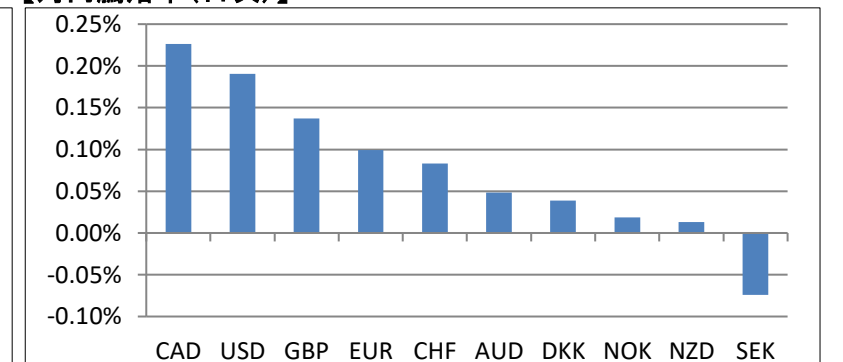
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月13日	11:00	中 貿易収支	6月 \$44.75b	\$45.53b
	11:00	中 輸出/輸入(前年比)	6月 15.1%/20.8%	18.1%/39.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.4%/2.3%	0.4%/2.3%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.5%/4.9%	0.6%/5.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.90-110.90	1.1820-1.1920	130.30-131.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は底堅く推移した。東京時間は、仲値にかけてフロー主導で下落する場面があったが日経平均の堅調推移を横目に持ち直す。海外時間に入り、109.99まで下落する場面もあったが、米株高や米金利の上昇を背景に一時110.40まで上昇。その後は、米CPIを抑える中110.30近辺で推移した。

本日のドル円は底堅い展開を予想する。本日は米6月消費者物価指数(CPI)に注目される。市場予想は前月比0.5%(コア指数は0.4%)となっており、予想を上回る結果となればインフレ懸念再燃によりドル円も上昇するだろう。また、Fed高官の発言も相次ぐ中、金融政策を巡る思惑主導で値幅が出る場面には警戒したい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ズル		13	8